女子青年の食品嗜好類型の研究*

——性格との関連に及ぶ——

第 2 報

1959年10月30日受付

田　村　も　と　え**

はしがき

前報に於て短大女子学生100名につき，食品嗜好の類型を(1)食品別嗜好状況，(2)同一系統内食品群に於ける嗜好関係，(3)嗜好に於ける食品群，(4)主食に対する嗜好状況，(5)嗜好より見た味覚と食品の関係，(6)嗜好に於ける味覚と主食の関係，(7)嗜好に於ける主食と副食の関係等の角度より検討し報告したが，今回は四年制女子大学生100名につき同様調査した結果を(1)食品別嗜好状況，(2)同一系統内食品群に於ける嗜好関係，(3)嗜好に於ける食品群，(4)嗜好に於ける主食と副食との関係に亙って報告する。

調査結果

(一) 食品別嗜好状況

(1) 先づ米飯，うどん，そば等の嗜好%は第一表に示す如く，相伯仲していることは短大生の場合と同様であるが，パンの嗜好は50%にて，米飯の38%を遙かに上廻っていることは注目に価する。短大生のパンの嗜好は36%にて四年制女子大生の方が14%も上廻っている。これに反し黒パンに対する嗜好は，四年生女子大生5%にて短大生の15%に比し3分1以下の者が嗜好しているのみである。

(2) 動物性食品を見るに肉は71%，もつは33%にてやはり肉の2分の1以下の嗜好である。チーズは58%の嗜好度を示し，短大生25%の倍以上が嗜好している。又，チーズを嫌うものも短大生36%にて四年生女子大学生の5%を5倍以上も上廻っていることは意外であった。

(3) 魚に対する嗜好は28%，小魚17%にて肉の71%には遠く及ばない。第一表に見て明らかなる如く魚の摂取量は短大生に於て上廻っていることも興味あることである。その他短大生の嗜好比較に於て蛋白性食品のうち豆腐，みそ等は夫々相伯仲し，納豆の嗜好%は偶然にも一致した22%を示しているが，同年代の女子青年の嗜好の一致が納豆に於ては端的に現われるものと興味深いものがある。

(4) 果物，菓子に対する嗜好はやはり好むものが圧倒的に多く果物87%，菓子は75%を示し，嫌なものは一人もない。菓子の嗜好は四年制女子大学生に於て10%下廻っている。

(5) 好き嫌いの平均食品数は，好きの平均数11点で14—17品が24%。短大は16%である。又嫌いの食品の平均数は2で4品—8品が15%。短大5—8品が17%で四年制女子大生の方が食物に対する好き嫌いが少い。嫌品数の多い者はその種類が問題である。

(二) 同一系統内食品群に於ける嗜好関係

第二表Aに示す如く，種類別嗜好に於て，牛乳とバターを共に好むという者が多く，26%もある。チーズ，バターを共に好むという者も25%もあるが，これらはパン食の影響によるものであろうと思われる。同一系統内食品群に於ける嗜好関係に於て目立つことは，肉が好きでもつが嫌いという者が22%もいることで，これも短大生の21%と同様である。又四年制女子学生に於ては牛乳とチーズを共に好む者が33%もいるが，これもパン食普及の影響ではないかと思われる。

(三) 嗜好に於ける食品群

これは前回同様，蛋白質源として何を嗜好するかを調べたところ，第三表に示すが如く，肉，魚をはじめ乳製品，芋，豆製品など全部を好む者14%，肉魚の嗜好者14，肉嗜好者は46%で魚嗜好者8%，肉魚除外の嗜好者即ち乳製品，芋，豆製品の嗜好者17%で肉食を好む者が最も多い。肉食嗜好者が圧倒的に多い事は若人の意気の向うところ生理的の要求であろうと思われる。

(四) 嗜好に於ける主食と副食の関係

米飯嗜好者の副食に対する嗜好は，第四表Aに示す如く，肉類，魚類，芋，乳製品，豆製品等全般に亙っている。

パン嗜好者の嗜好はBに示す如く，肉魚11%，肉15%，又パン食嗜好者には乳製品嗜好者が圧倒的に多いことは前回と同様でありそれらを併用している。麺類嗜好者の嗜覚は第四表Cに示す如く，肉食6%，その他4%である。

---

* A Study on Likes and Dislikes Pattern of Food in Young Femals with Reference to Their Personality Pattern.

** Motoe Tamura

第一表　食品別嗜好状況

1)　食品群別比較（%）

品名	好き		嫌い	
	(四)	(短)	(四)	(短)
米飯	38	42	2	1
うどん	39	39	16	17
白パン	50	36	4	4
そば	37	34	18	23
黒パン	5	16	24	20
肉	71	62	4	5
もつ	33	27	36	41
魚	28	39	12	11
小魚	17	30	13	16
牛乳	50	62	10	9
チーズ	58	66	7	36
バター	41	39	5	5
ヨーグルト	58	46	13	17
カルピス	65	57	5	4
卵	63	61	5	6
豆腐	50	52	2	6
みそ	25	33	13	7
納豆	22	22	13	18
緑野菜	59	49	0	4
芋類	21	25	14	11
その他の野菜	56	44	0	1
果物	87	88	0	0
菓子	79	88	0	0

2)　好き嫌いの順序（%）

品名	好き	品名	嫌い
果物	87	もつ	36
菓子	79	黒パン	24
肉	71	そばう	18
カルピス	65	どん	16
卵	63	芋類	14
緑野菜	59	小魚	13
チーズ	58	ヨーグルト	13
ヨーグルト	58	みそ	13
その他の野菜	56	納豆	13
白パン	50	魚	12
牛乳	50	牛乳	10
豆腐	50	チーズ	7
バター及脂	41	バター	5
うどん	39	カルピス	5
米飯	38	卵	5
そば	37	白パン	4
もつ	33	肉	4
魚	28	米飯	2
みそ	25	豆腐	2
納豆	22	緑野菜	0
芋	21	その他の野菜	0
小魚	17	果物	0
黒パン	5	菓子	0

第二表　同一系統内食品群に於ける嗜好関係

A　食品の種類別嗜好について（%）

品名	両方好	両方嫌	品名	両方好	両方嫌
白パン・うどん	15	0	野菜果物全部	14	0
黒パン・そば	1	3	豆製品全部	17	1
肉・もつ	27	3	みそ・納豆	22	11
魚・小魚	10	5	米飯・白パン	14	0
乳製品（牛乳・カルピス・ヨーグルト・バター・チーズ）	9	0	牛乳・バター	26	1
			チーズ・バター	25	2

B　同一系統内食品群の好き嫌い（%）

品名	%	品名	%
肉類 肉○・もつ×	22	牛乳○・バター×	0
肉×・もつ○	0	チーズ○・牛乳○	33
乳製品 牛乳○・チーズ×	1	豆製品 みそ○・納豆×	0

備考　○ 好　× 嫌

第三表　嗜好に於ける食品群（%）

全部	肉	魚	牛乳	卵	豆製品		14
肉	肉	魚	牛乳	卵	—	6	14
魚	肉	魚	牛乳	—	豆製品	4	
	肉	—	牛乳	卵	豆製品	21	46
肉	肉	—	牛乳	卵	—	12	
	肉	—	牛乳	—	—	5	
	肉	—	牛乳	—	豆製品	3	
	肉	—	—	卵	豆製品	1	
	肉	—	—	—	—	4	
魚		魚	牛乳	卵	—	4	8
		魚	牛乳	卵	豆製品	2	
		魚	—	卵	豆製品	1	
		魚	牛乳	—	—	1	
その他			牛乳	卵	豆製品	4	17
			牛乳	卵	豆製品	3	
			牛乳	—	—	3	
			牛乳	—	—	7	
			特に好物なし			1	1

第四表　嗜好に於ける主食と副食物との関係（%）

A

米飯と全食品	米飯	肉	魚	乳	卵	豆製品	2	4
	米飯，パン，うどん	肉	魚	乳	卵	豆	2	
米飯と肉魚	米飯	肉	魚	乳	卵	—	2	7
	米飯，パン，そば	肉	魚	乳	卵	—	2	
	米飯，そば	肉	魚	乳	—	豆	2	
	米飯	肉	魚	乳	—	—	1	
米飯と肉	米飯，パン，うどん，そば	肉	—	乳	卵	豆	5	19
	米飯，パン，うどん，そば	肉	—	乳	卵	—	2	
	米飯，そば	肉	—	乳	卵	—	2	
	米飯，うどん	肉	—	乳	—	豆	2	
	米飯，パン	肉	—	乳	卵	豆	2	
	米飯	肉	—	—	卵	豆	2	
	米飯	肉	—	—	—	—	2	
	米飯，パン，うどん	肉	—	乳	卵	豆	1	
	米飯，うどん，	肉	—	乳	—	—	1	
米飯と魚	米飯，パン	—	魚	乳	—	豆	2	3
	米飯，パン，うどん	—	魚	乳	—	豆	1	
米飯と其他	米飯	—	—	乳	卵	—	1	1

B

パンと全食品	パン	肉	魚	乳	卵	豆	3	8
	パン，そば	肉	魚	乳	卵	豆	4	
	パン，うどん，そば	肉	魚	乳	卵	豆	1	
パンと肉魚	パン，うどん	肉	魚	乳	—	豆	2	3
	パン，うどん，そば	肉	魚	乳	—	—	1	
パンと肉	パン，そば	肉	—	乳	卵	豆	2	15
	パン	肉	—	乳	卵	豆	2	
	パン，うどん	肉	—	乳	—	豆	2	
	パン，うどん	肉	—	乳	卵	豆	4	
	パン，うどん	肉	—	乳	卵	—	4	
	パン	肉	—	—	—	—	1	
パンと魚	パン(白，黒)，うどん	—	魚	乳	卵	豆	1	2
	パン	—	魚	—	卵	豆	1	
パンと其の他	パン，うどん	—	—	乳	—	豆	1	4
	パン，うどん	—	—	乳	—	—	2	

C

麺類と全食品	うどん，そば	肉	魚	乳	卵	豆	3	1
麺類と肉魚	うどん，そば	肉	魚	乳	卵	—	1	1
麺類と肉	うどん	肉	—	乳	卵	豆	1	2
	そば	肉	—	乳	—	—	1	
麺類と其の他	うどん，そば	—	—	乳	卵	—	1	4
	うどん	—	—	乳	—	—	3	

ま と め

以上述べたところを要約すると

○米飯，うどんを好むものは短大生同様全体の3割強であり，パンを好むものは全体の5割である。従て現在の女子青年は，従来の日本食の主食である米食より，パン食をはるかに好んで食していることが分る。

尚，米飯2％に対し，白パン4％，うどん16％，そば18％，黒パン24％の者がそれぞれ嫌いであることは注目に価する。

主食の栄養強化のため強化米及び麦を使用している者が四年制30％，短大生37％もいる。その内わけは下表の通りである。

米飯強化	ポリライス	ビタライス	麦	ポリライス＋麦	計
四年制女子大生	21	4	4	1	39
短大生	6	7	13	11	37

○肉の嗜好％71％，卵63％，チーズ58％，牛乳50％，魚の嗜好度は28％，小魚17％にて肉や卵，チーズ，牛乳に比し意外な開きがある。殊にチーズに対する58％の高い嗜好度は意外であった。第一表食品別嗜好状況比較表に見て明らかなる如く，チーズに於ける四年制女子大生と短大生の嗜好度の開きも注目に価する。又ヨーグルト，カルピスの嗜好度の高い％に対しては果物の嗜好性に照し興味深いものがある。

次に，豆腐50％の嗜好性に対しみその25％，納豆の22％の開きも興味深い。嫌いな者もみそ，納豆それぞれ13％である。

○最も好まれている物は果物と菓子であり，全体の約8—9割で嫌いな者はない。緑野菜やその他の野菜も5割以上を好んでおり，これも嫌いな者はない。最も嫌われている物は，もつの4割近く，黒パンの2割強，そばとうどんも2割近く嫌われている。納豆は四年制女子大生には1割強嫌われている。好きな者も2割強である。

好き嫌いの甚だしい者も全体の約2割近くいるが，他の者は大体バランスのとれた嗜好状態である。

以上の研究により次のような食品嗜好の類型があるのではないかと思われる

(1) 肉魚嗜好型 28％
肉嗜好型 46％
魚嗜好型 8％
その他 17％

肉魚嗜好型とは，肉魚を標準としているが，この他牛乳，卵，豆製品を併用してもよい。その他とはこの場合肉魚を好まず牛乳，卵，豆製品を好むものである。

(2) 米飯嗜好型 34％
パン嗜好型 31％
麺類嗜好型 10％

米飯嗜好型とは米飯を標準とし，これにうどん，そば，パンなどを併用しているもので，パン嗜好型とはパンを標準にし，これにうどん，そばを併用している者，麺類型とはうどん，そばの嗜好者である。

上述したところにより第二報として研究結果を概説したが，今後食品嗜好類型の栄養化学的意味を検討し，嗜好類型が性格及び月経と関係があるかどうかを検討してゆきたいと思う。

田村もとえ　本学教授　食養療法学担当